

表紙絵の解説

題名：水戸黄門と助さん格さん像 作者：横山久義

・ロウ原紙、ヤスリで製版

1. 人物 = 絵画 B、台座 = 絵画 B 裏つぶし製版、群青 + 白で刷る。
2. XA で輪郭を製版、群青 + 紫で刷る。
3. 背景 = 絵画 B、人物 = 絵画 A、台座 = 絵画 A 裏つぶし製版、黄土色で刷る。
4. 画面全体 (背景、人物、台座) を XA で製版。3. のインクに黄色 + メジウムを加えて、典具帳でボカシ風に仕上げたつもり。

銅像らしさを出す工夫をしました。もっと明るい色にすべき…。そして、つぶしは何十年やっても難しい。自分の人生を重ねます。

6・7月合併号の表紙絵は伊藤さんです

5月の研究会 予告

日時：5月13日(日) 会場：新富区民館

- ◆午前の部 (10:00 ~ 12:00) 孔版の基本技術を実技講習します
 テーマ：白抜き (指導：三井)
 アラビアのりやボンドに絵の具と水を加えて、インキが通らないように原紙を塞ぐ技法です。PS 版画で使う技法です。
 *持参物：アラビアのり又はボンド、絵の具又はポスターカラー、デザイン筆 (面相筆)、小皿。*事務局準備：スクリーン原紙
- ◆午後の部 (13:00 ~ 16:00)
 テーマ：モミ紙のバック処理 *新人さん実技 (指導：黒川)
 ボールペン原紙を使って主にバック (背景) 処理に使用しますが、バック処理以外に応用範囲が広くアイデア次第で色々な使い方や表現ができます。バック処理にはボールペン原紙の他に落水紙やスクリーントーン製版や手づくりオリジナル原紙などがあります。
 *安田さん、三井さん見本作品のご協力 (持参) お願いいたします。

4月の研究会 報告

◆午前の部 *孔版の基本技術

・シルクの貼り方 (指導：黒川)

シルクは印刷器より天地左右 2cm 幅位の大きさに切って、ぬるま湯に浸けて軽く揉んでから水分軽くを拭き取る。シルクを窓枠の上のせて、長辺の 1 点を窓枠に画鋏で留め、その反対側を目一杯引っ張り画鋏で留める。この要領で次に短辺を留める。順次この要領でシルクが緩まないようにピーンと張っていく。もし緩みがあれば再度引っ張って留め直す。次にボンドをシルクと窓枠に摺り込むように塗る。ボンドが乾いたら画鋏を外し、窓枠からはみ出た余分なシルクを切り落とす。



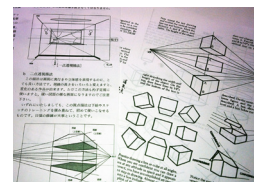
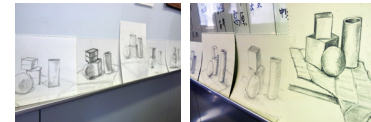
下) ボンドを摺り込むように塗る

今回は窓枠が薄いため、画鋏は表面に留めざる得なかった。
 *画鋏の代わりにステプラー (ホッチキス・ホチキス) で留める方法もある。

◆午後の部

・デッサン (指導：玉井)

玉井さんから無地の球体、立方体、円柱のモチーフが机に置かれ、安田さんから透視描法の資料も配布され、戸惑いながらデッサンの開始。「丸や直線は結構手こずるな〜」アット言う間に時間が来て、静寂な時間は終了。「描き足りない〜」。玉井さんから講評があり、皆から「また、やりたいね〜」など大好評でした。



透視描法の資料



丸も四角も難しいね〜



皆さんうまいなあ〜